

ふれあい

平成20年10月 第271号

大代地区コミュニティ推進協議会
〈編集部〉

事務局：大代地区公民館

☎364-8442

〈掲載目次〉

- 中区二十年度事業活動の一部をご紹介します 1
- 『男の料理教室』に参加して 1
- 盆踊り大会 2
- 防災訓練 2
- 柏木神社例大祭 2
- 物置を整理して(その三) 3

- 貞山運河周辺清掃のお知らせ 3
- お晩です運動教室に参加しませんか 3
- 大代地区公民館
自然観察教室参加募集 3
- 大代の歩み(七) 4
- ふれあい川柳・短歌・俳句 4

中区二十年度事業活動の

一部をご紹介します

●男の料理
大代中区町内会長 小野 菊郎
(年間九回実施・多賀城市、生涯学習百年構想実践委員会、大代食改主催に参加。他に独自開催)

『男の料理教室』に参加して

大代中 伊藤 善夫

去る七月二十九日(火)中央公民館調理実習室において、生涯学習百年構想実践委員会主催による、『男の料理教室』が開催され、大代中区から四名の出席と市内各区からの出席者、講師、サポーター(食改)を合わせ三十名で、メタボ予防メニューの三品を作ることになりました。

はじめに阿部委員長の挨拶があり、講師(市給食センター栄養士)による「メタボ予防の食事について」の講座を受け、愈々料理の開始となり献立表をにらみながら皆熱心に取り組みました。初めての人、何度か経験を積んだ人と様々でしたが、一生懸命取り組みだせいか予定時間より早く出来上がり、自分たちで作った

献立での会食となりました。味付けを自分たちでしたせいか格別においしく感じましたようです。



この『男の料理教室』は今回で二回目ですが次回また開催するそうなので、皆さんぜひ参加されては如何でしょうか。※中区の方で男の料理グループに参加者を募っております。保健衛生推進員・町内会長へご連絡下さい。

●盆踊り（育成会との共同開催） 盆踊り大会

大代中 本郷 敏郎

今年も町内会・子ども育成会との共同開催により八月二日（土）大代公民館において盆踊り大会が行われました。午後四時の出店に向け、町内会の役員、ほか大勢の町内の方々、また育成会の父母の皆さんの協力により、準備が進められいよいよ盆踊りの開始です。

今年はお店の種類内容が例年より充実し、数多くの品が並びました。

開始時間前から会場には、多くの子供たちが集まり品定めをしていました。焼き鳥・フランクフルト・スモークチキン・かき氷・綿菓子等々。中でも人気のあった出店は、くじ引き・特大アミダくじです。一度手にしたくじを戻し別のくじを引く子供。大人、誰でも参加出来るアミダくじではどれが当たるのか、また気のあった賞品が当たるたびに大騒ぎでした。

盆踊りも一部・二部と進み、終わりに近づくと頃、ビンゴゲームを行い、最後は婦人会の方々が朝早くから作ってくれた紅白の餅まきで会場は笑い声、手を上げてこっちにと呼ぶ声など、最高潮に達し午後八時に終了となりました。

町内会、育成会、婦人会の方々に協力を頂いたことに感謝を申し上げ、来年も町内の方々みんなが参加する盆踊り大会にしよう、今から考えています。



●防災訓練（事前広報訓練実施―自助・共助意識向上活動）

大代中 小野 菊郎

九月二十八日（日）防災訓練を致します。訓練内容は一・事前広報訓練、二・避難訓練、各種体験訓練、防災用品、災害状況映像ビデオ放映、三・自主防災組織運用訓練、四・防災訓練実施広報訓練の四種目です。

一・は自助、共助の重要性を認識する啓蒙活動。九月一日～二十日間において、まず、自分の身は自分で守る。次に、家族の安否確認をする。続いて、向こう三軒両隣の安全確認が迅速・的確に対処出来る心構えを身に付けることを目的に家庭訪問して啓発活動をしました。

併せて、非常持ち出し品準備・非常食常備・飲料水常備・火災警報器設置・家財転倒防止設置等改善項目のチェックも行いました。

これに当たりましたのは自主防災組織運営委員等六十九名で三百八十世帯を十一組に分け実施いたしました。

共助活動の意識向上には必要な活動であると思います。

今後も継続して実施出来る体制を確立しなければなりません。

二・三・四は九月二十八日当日訓練する内容です。（九／四記）

柏木神社例大祭

大代地区鎮守、うぶすなの神、柏木神社、秋の例祭並びに神神輿渡御を十月二十六日（日）に催行いたします。ご家族おそろいでご参拝賜りますようご案内申し上げます。小雨決行となります。

物置を整理して(その三)

大代中 本郷 敏郎

今回は前回お知らせした通り、多賀城のことに關して投稿致します。

現在、多賀城市の世帯数は約二四、一五〇世帯とのこと。今回出てきた昭和三十八年の多賀城町全図によると、「多賀城町全世帯八、〇〇〇軒に配付」とあります。約四十五年で三倍の件数が増えたこととなります。また、この地図は「スポンサー各位のご寄贈」ご協力により完成」とあります。大代町内のお店、会社も見受けられます。

一方地図のほうに目を移しますと、多賀城自衛隊の中に鉄道の線路が入っていたり、「念仏橋」が「谷地橋」とあります。当然念仏橋までの産業道路はありません。また、仙台新港は開発前で現在の緩衝緑地帯「枅形囲貝塚」の名が記してあります。現在の大代東地区付近は「新田」の地名があり、大分変わったことがうかがえます。

まだまだこの地図のことを紹介したいのですが、長くなりますので、この辺にしておきます。
次回は幕末から明治の初めの書籍について投稿したいと思えます。

貞山運河周辺清掃のお知らせ

大代地区コミュニティ環境美化部

日時／十月十二日(日)
午前六時から(一時間程度)
集合場所／大代地区公民館
雨天の場合は中止(小雨決行)
手袋を持参して下さい。

ゴミ拾い用のゴミ袋として、レジ袋を一人三枚持参の上参加願います。
大代地区の皆様のご協力お願いします。

おぼんです運動教室に

参加しませんか

◆会場 大代地区公民館

◆日時 (全六回)

・講師 笠原 静江先生 太極拳

十月二十九日(水)・十一月五日(水)

十一月十二日(水)

・講師 佐藤 加津子先生

ポディポテンシャル

十一月二十日(木)

十一月二十七日(木)・十二月四日(木)

◆時間 午後六時三十分～八時

◆対象者 一般青年・中高年者

◆定員 二十名 参加費無料

◆服装 スポーツドリンク・タオル

運動できる服装・上靴等

◆申込方法

大代地区公民館事務室にて、

別紙「受講申込書」に必要事項を記入の上、申込下さい。

◆申込締切 十月十日(金)

大代地区公民館

自然観察教室参加者募集

◆期日 平成二十年十月二十六日(日)

◆場所 仙台市天文台

蔵王野鳥の森自然観察センター

※遊歩道散策があります。

なお、散策については小雨決行いたしますので雨具等を用意願います。

◆集合場所 大代地区公民館

◆集合時間 午前八時十五分

◆出発時間 午前八時三十分

◆帰着時間 午後七時(予定)

◆参加費 四千元(バス・昼食代等)

◆募集定員 四十三名

◆申込方法 参加費を添えて、直接大代地区公民館へお申し込みください

(電話での申込不可)

◆申込締切 平成二十年十月十日(金)

(但し、募集定員になり次第締め切らせて頂きます)

大代の歩み (七)

大代南 渡邊 巖

小関氏：祖の加賀某は伊達家累代の臣。八代目の小関恒典の文化一三（一八一六）年に大代の橋本氏（前出）の九代目、良賢から譲渡され、大代村に在郷屋敷を構え、九代目恒道まで続いた。

この他には五氏の知行地と侍屋敷一軒、足軽屋敷一〇軒があったと言われている。

次ぎは当時の大代の村勢を風土記書出中の村高で見よう。

村 高

田一七貫九〇〇文〓一七石九斗、畑四貫二六五文〓四石二斗六升五合、『合計二二貫一五六文〓二二石一斗五升六合』を産出する耕地があり、このうち藩が所有する蔵入地が七貫六一九文〓七石六斗一升九合、家臣の知行地である給所分が一四貫五四六文〓一四石五斗四升六合である。

なお、大代村の御船入堀に係わる書出しについては『大代の歩み』（四）の後半及び（五）に略記したが、次ぎの事柄を補足する。

献上魚：前述した献上品は、茶屋敷に住む百姓が上納・輸送していた。然し実

際に大代村に品替百姓の該当者は無いのに、書出しに茶屋敷品替百姓と有るのは、

有力農民の諸役免除と同様に、日肴を納入し人足役を負担するという特別な役割に對して、諸役を免除された茶屋敷一六軒の人頭達の誇りを示したものである。また、これらの人頭達のうち五軒は、

天保六（一八一五）年、「当人数御改帳控」では、職業は不明であるが農業以外の人頭で、酒屋・菓子屋など資本力のある者が船の仕事や漁業に携わっていたのかも知れない。

次号では藩直轄の造植林事業の内、大代村分を風土記から見てみよう。

続く

ふれあい川柳

大代西 藤田 遊子

農村が都会となりて蛙鳴く
ママよりも大きなオツパイ牧の牛
悪代官三葉葵にかなわざり
篤姫の思い吹き上ぐ桜島
やかましく吠えるブタ飼う酪農家
お姫さま出たり入ったり永田城
赤ちゃんを育てるママに銅メダル
故郷に錦を飾るしんたろう

ふれあい短歌

大代西 藤田 遊子

宮様の 婚礼祝ひ 白鳥は
皇居の池に 暫し漂ふ
子育ての 谷の柔道 銅メダル
次回は「金」か ロンドン五輪

ふれあい俳句

大代西 松浦 富男

敬老日米寿滔々蝦蟇の油
父母の宿るはいづこ星月夜
明け暮れの濤音たかし新松子
秋花火耳で観ている老い独り
貧しさに順れて見ており秋夕暮
笠神西 本郷 勝子
こっち向くちようど昼どき大向日葵
岩肌に一面真白大文字草
綱雲稜線続き限りなし
銀蜻蜒山々茜まき散らす
ぶどう狩り色を濃くして無尽蔵
夜なべして母の味なり栗ごはん
笠神西 吉野 珠子
青柿や飛石ぼつん落にけり
「秋空だ」ほつりとつぶやくタクシー人
水引の花をめでたり茶をたてむ
鬼灯の赤らみ増すや八月尽
故里の心によぎる仲秋かな